

北海道から発信するグリーンイノベーション

日時 平成22年11月15日(月) 13:30~17:15

場所 北海道大学 学術交流会館・講堂 (札幌市北区北8条西5丁目)

参加費 無 料

北海道の特徴である広い大地と豊かな自然、そして北海道で生み出される新たな科学・技術の双方を活かした、新たな生活・産業・経済の形について提言を行います。自然環境への負荷を緩和して自然を保全・再生し、さらに自然災害などの環境変化に適応するといった「自然と人類との共生」を図りつつ、同時に「人類の発展」を進める「グリーンイノベーション」とはどのようなものか、その展望を語り新たな科学・技術のあり方を考えます。北海道発の最新の学術成果に関心を持つ研究者、大学生、市民の参加をお待ちしています。

プログラム

13:30-13:35	開会の挨拶 岸浪 建史 (日本学術会議第3部会員、釧路工業高等専門学校校長)	15:45-15:55	休憩
【第1部】講演の部		【第2部】パネルディスカッションの部	
13:35-14:05	基調講演:「日本の展望」と新しい科学・技術 大垣 眞一郎 (日本学術会議副会長、国立環境研究所理事長)	15:55-16:00	モデレーターとパネリストの紹介 岡田 尚武 (日本学術会議連携会員、北海道大学 理事・副学長)
14:05-14:30	見えない光、赤外線を利用する太陽電池 三澤 弘明 (北海道大学 電子科学研究所所長・教授)	16:00-17:10	パネルディスカッション ・モデレーター 佐藤 のりゆき (フリーキャスター、北海道大学 創成研究機構・客員教授)
14:30-14:55	北海道における地中熱ヒートポンプシステムの環境貢献と経済効果 長野 克則 (北海道大学 大学院工学研究院・教授)		・パネリスト 三澤 弘明 (北海道大学 電子科学研究所所長・教授)
14:55-15:20	日常生活をもっと便利にする北大発のナノテクノロジー 古月 文志 (北海道大学 大学院地球環境科学研究院・教授)		長野 克則 (北海道大学 大学院工学研究院・教授)
15:20-15:45	太陽光エネルギー利用と環境浄化のための新しい光触媒技術 阿部 竜 (北海道大学 触媒化学研究センター・准教授)	17:10-17:15	閉会の挨拶 岸 玲子 (日本学術会議 北海道地区会議 代表幹事、北海道大学 環境健康科学研究教育センター長)

主催：日本学術会議 北海道地区会議、北海道大学

後援：札幌市

申し込み先：日本学術会議 北海道地区会議事務局
(北海道大学 学術部研究協力課 研究企画担当)

Tel: 011-706-2155

e-mail: suishin@general.hokudai.ac.jp

<https://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/application/>

電話または電子メール、ウェブサイトで上記へ申し込み下さい。

会場：北海道大学 学術交流会館

